

会議録要旨

(1) 会議の名称	令和5年度 第1回スクールランチ運営監理委員会
(2) 開催日時	令和5年7月7日（金曜日） 15時00分～16時30分
(3) 開催場所	越前市役所5階 教育委員会室
(4) 出席委員氏名	藤丸陽子委員、仕子千香子委員、山岸祝子委員、上木侑香里委員、三田村純子委員、上嶋友美委員、坪内祥子委員、山森なおみ委員、佐治美江委員、古屋美里委員
(5) 欠席委員氏名	帰山祐紀子委員
(6) 出席所管課職員職氏名	教育長 澤崎秀之、教育振興課 課長 山口あけみ、 学校教育指導室長 近江久幸、 副課長 川崎仁美、主幹 有定真奈美、主査 高橋文恵
(7) 会議議題	スクールランチの検証および課題について
(8) 傍聴者の数	0人
(9) 会議資料の名称	—
(10) 会議の内容の要旨	<p>○スクールランチ令和5年度1学期の評価を行い、概ね適切の評価であった。スクールランチの現状から課題を協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、ランチルームの利用人数を増やす、アクリル板を外す、対面で食べるなど、にぎやかな給食時間を取り戻している。 ・今年度1学期は、喫食率の停滞、残食量特にボックスメニューの残食量が多くみられている。主食の白ごはんや副菜の野菜料理を残す傾向がある。 ・近年、主食量の少なめを希望する生徒が増加している。中には、喫食時間が短いため食べきれない、残したくないという思いから少なめを選択したり、弁当にしている生徒がいる。その一方で、主食量を多めにしても足りないという生徒もいる。主食量については、毎年、中学1年生に栄養教諭等が指導を行っている。自分に見合った主食量を理解し、時間内に喫食できるように食べる量を正しく選択しなければならない

	<p>い。今後も家庭と連携し、主食を食べることの重要性を継続して指導していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費については、世界経済情勢や原油高による価格高騰が続き、これまでの価格で適正な献立内容を維持することが困難になっている。 <p>このような中、越前市では令和4年度に続き、令和5年度においても国の支援メニューを活用して補助金を投入することで、保護者の負担を増やさずに給食の質を維持することにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理については、食中毒対策など、引き続き緊張感を持って取り組むことが重要である。
(11) その他	—